

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん

息軒だより

百里を行く者は

九十里を半ばとす



令和4年8・9月号(第33号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝 館長 川口真弘
〒889-1605
宮崎市清武町加納甲3378-1
TEL 0985-84-0234
FAX 0985-84-2634
e-mail sokken.yasui@pic.bbq.jp
<https://yasuisokken.jp>



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

「着任のご挨拶」

8月1日付けで当館の学芸員に着任した青山大介です。このたびご縁を得て、当館で働かせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで15年間ほど、台湾の南栄科技大学応用日本語学科や中国湖南省の湖南大学、岳麓書院で大学教員をしておりました。岳麓書院とは哲学科・史学科・考古学科の大学院と研究所を合わせた研究機関で、100名を超える研究者が日々研究と教育に取り組んでいます。この名称は、かつて朱子学の朱熹や陽明学の王陽明が教鞭をとっていたアカデミーとして有名な「岳麓書院」にちなみます。実際に岳麓書院の旧跡ということもあって書院自体が観光地化されており、コロナ禍以前は連日大勢の観光客で賑わい、その入場料と土産物からなる収益で全ての人件費を賄っていると豪語していました。

私の専門は中国哲学です。いわゆる「漢文読み」として、紀元前に編纂された『呂氏春秋』という書物や春秋戦国時代（紀元前770～前221年）の「聖人」観念、そして安井息軒の著作について研究し、論文を発表してきました。息軒関連では『論語集説』『左伝輯釈』『書説摘要』『辨妄』『周礼補疏』のほか、「『易』論」「教育論」「人性論」について報告したことがあります。

私が息軒先生を研究するようになったきっかけですが、台湾在職時に高雄師範大学経学研究所の台湾人研究者が立案した日本儒者に関する合同研究計画に誘われたことです。それまで日本の儒者については、全く研究していなかったのが謹んで辞退したのですが、いろいろとしがらみもあって断りきれず、苦し紛れに「両親の暮らす宮崎にゆかりある儒者だから」という安易な動機から、「安井息軒」を研究テーマに選んだ次第です。

当初は「昌平黌の儒官になったぐらいだから、定めし頭の固い朱子学者に違いない」という偏見をもっていたのですが、著書を読んでみるとまるで違う。これは面白いと読み進めるうちに、「どうして『寛政異学の禁』を掲げる幕府が、反朱子学を公言する安井息軒を昌平黌儒官に任命したのか」「中国や朝鮮では朱子学が近代化の足かせになったと言われるが、日本では反朱子学の立場をとる安井息軒が当代一流の儒者と尊崇を集めていた。そこには日本、否、東アジア近代思想史上、重大な意味が含まれているのではないか」「多くの著作が明治時代に入ってから出版されているにも関わらず、安井息軒の思想がこれまでずっと等閑に付されてきたのはなぜか」等々の疑問が浮かんできました。そして今では、息軒思想に日本近代思想史上の位置づけを与えるべく、研究に励んでいます。

当館では、自分の専門知識を生かして、安井息軒が漢文で書いた文章を現代日本語に翻訳し、儒教にあまり馴染みのない読者にも分かるように解説を加えて、紹介していきたいと思っています。もし「これを訳してほしい」というリクエストがあればご連絡ください。（ただし「くずし字」は読めません。）著作の現代日本語訳が進めば、息軒思想に興味をもつ人も増えてくるでしょうし、卒業論文のテーマに息軒思想を選ぶ大学生や、息軒思想を取り上げる日本近代思想史の研究者も出てくるのではないかと期待しています。

日本で働いて暮らすのは15年ぶりのことで、いろいろと戸惑ってばかりですが、当館での仕事と宮崎での生活に一日も早く馴染めるよう精いっぱいがんばりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。（文責：青山）



夏秋企画「安井夫人 ～お佐代さんとお槇さん～」

現在、当館ロビーにおいて、息軒を陰で支えた2人の妻に焦点を当てた展示を行っています。

一般的に息軒の妻として知られているのは、森鷗外によって書かれた『安井夫人』の主人公佐代ですが、佐代亡き後に息軒を支えた槇子についてはほとんど語られている書物はありません。そして「日下姓の家系図」によると、実はもう一人、佐代と結婚する前に弓削氏の娘を娶っていることが記されています。息軒の妻は、3人いたのです。しかし、最初の妻に関しては、死別か離別かも判らず、おそらく非常に短い婚姻期間であったろうと思われます。

そこで今回の企画では、実際に息軒に寄り添って生涯を全うした2人の妻、佐代と槇子について取り上げています。息軒の言葉ではほとんど語られることのなかった、佐代という女性はどうのような人物だったのでしょうか。当時の佐代を知る人の言葉を拾い、また後に佐代の生涯に思いを巡らし書かれた文章から佐代を見ていきます。

後妻の槇子は、佐代より6歳年下で、46歳の時に後妻に入りますが、どのような経緯で息軒の妻になったのかは不明です。息軒の書簡からは、槇子という女性を心から信頼し、愛おしく思っていることがひしひしと伝わってきます。佐代の陰に隠れて後世の著述にもほとんど名前が上がりず、見過ごされてしまいそうな女性ですが、こちらは息軒によって存在感を与えられています。

2人の女性が、どのように息軒に向き合いながら生きて、また彼を支えていたのか、今まで企画展では扱われたことのないテーマですが、大儒息軒の傍で確かに地歩を占め、生涯を全うした2人の女性がいたことを知っていただければ幸甚です。

(文責:長野)



大学生も学習に訪れています ✨ ✨

宮崎学園短期大学(保育科 6月14日、産業ビジネス科 6月16日)



先生方も夏休みの研修でご来館 !!

7月26日(火) 宮崎市立清武小学校の先生方がご来館、息軒先生について学びを深められました。





7月28日 都城市庄内地区
社会福祉協議会のみなさま

7月30日 Enjoy
きっず 清武のみなさま



清武町史セミナーにもたくさんの受講生のみなさまが…



6月「菊地武光の日向遠征」



終了後も話がはずんで…



7月「島津氏の九州制覇」

しかし 最近の新型コロナウイルス オミクロン株 BA5 の感染拡大の影響で 中止した行事も…

7月の「夏休み子ども息軒塾」や「きよたけ郷土まつりの文教行列」への参加は中止せざるを得ませんでした。また宮崎市教育委員会生涯学習課が企画した「宮崎が生んだ偉人 安井息軒先生の足跡をたどる旅」も中止となりました。お申し込みをされたみなさま、申し訳ありませんでした。来年も是非お申込みください。(3面文責:川口)

秋に向けて 講座等のご案内…

☆安井息軒記念館臨時講座

10月15日(土)10時～11時45分
「安井息軒《救急或問》にみる政治思想」
講師:新学芸員 青山大介学芸員

昨年の記念館講座でビデオ講座として実施しました内容を基本としますが、台湾や中国の現況についても少しご報告したいと思います。大変興味深い講座です。ぜひお申し込みください。

☆みやざき三計塾も開講

10月2日開講、以下10月9日、23日
11月6日、20日、12月4日、全6回
毎回日曜日 10時～11時45分

講師:山元宣宏氏

宮崎大学教育学部准教授
特定非営利活動法人
安井息軒顕彰会顧問



安井息軒の代表的著作の一つである『論語集説』を丁寧に読んでいくことにより、『論語』の内容がよりよく理解できる講座です。全6回、通しでのご参加が原則です。まだゆとりがあります。

《申し込み方法》記念館講座、かるた大会も共通

電話、FAX、メール等を活用して、お名前、ご住所、ご連絡先を当館までお伝えください。申し込み先等は、1ページ目の上段、右側に電話・FAX番号、メールアドレス等が記載されています。こちらにどしどしお申し込みください。

小学生かるた大会参加者募集 令和4年9月23日(金・祝)

9月23日は息軒先生の命日、当日午前には安井息軒記念講演会を開催しますが、午後は息軒の日としてトールツリー(宮崎市清武文化会館指定管理者)と共催して終日様々なイベントを展開、その一環として、「小学生かるた大会」を開催します。

- 1 時刻 午後1時30分～午後3時
- 2 場所 宮崎市清武文化会館小ホール
- 3 種目 下学年の部(小学1年～3年)個人戦
上学年の部(小学4年～6年)個人戦
ペア(小学生1名と保護者・家族1名)
- 4 競技 リンクリーグ、上位4チーム表彰
- 5 申込 9月10日(土)締め切り、記念館まで



安井息軒絵本・紙芝居「いつか日本一に」贈呈

6月27日、安井息軒の絵本と紙芝居の贈呈式を行いました。これは昨年度、顕彰会が企画し、シナリオは記念館が担当、挿絵は県立佐土原高等学校産業デザイン科3年生の河野兼志さんに依頼して完成したものです。この絵本を宮崎市内のすべての小学校に、紙芝居は清武町域の幼稚園・保育園・こども園に贈呈しました。

当日は顕彰会役員が宮崎市教育委員会を訪れ、西田教育長に目録と絵本・紙芝居を贈呈しました。各学校・園で、明日を担う子どもたちの夢や希望を育むために活用していただければ幸いです。



令和4年度 安井息軒顕彰会・記念館事業の外部評価

7月19日、令和3年度に顕彰会と記念館が実施した26の事業について自己評価、内部評価した事業評価の検証を目的に、8名の外部評価委員による第1回外部評価会を開催しました。当日は事業毎の概要説明、評価の要領等について評価委員との意見交換を行いました。評価書を回収後、第2回の外部評価委員会を実施する予定です。市民の目線で、効果的な事業を目指して事業の評価・改善を図ります。



安井息軒記念事業「息軒の日」の第1回関係機関・団体連絡協議会開催



息軒先生の命日である9月23日(金・祝日)に「息軒の日」記念事業を開催するために、7月12日、5つの関係機関・団体延べ20名にご参加いただきました。そして息軒の日当日、午前の開会式と記念講演会、午後の息軒の日イベント(表彰式、競技大会、演技、体験、展示等)の概要について協議しました。宮崎市清武文化会館の指定管理者であるツールツリーのご厚意で、当日は清武文化会館全館をフル活用して開催します。当日を園児から高齢の方々まで来館者みんなが、「**息軒先生にふれ、親しみ、学び、交流を深める**」一日としていきたいと考えています。課題として運営スタッフの募集があります。ボランティアとしてご協力いただける方は、ぜひとも顕彰会事務局までご連絡をお願い申し上げます。

令和5年度の安井息軒記念館指定管理に向けて★

宮崎市安井息軒記念館及び安井息軒旧宅をはじめとする関連施設は、平成29年度から指定管理施設となり、安井息軒顕彰会がこれまで指定管理者として管理運営を行ってきました。今回令和5年4月からの第3期目の募集があり、7月28日の臨時理事会で今回も応募していくことになりました。3期目は、期間が3年間から5年間に延長されましたので、長期的な視点で計画書を提案してまいります。ご支援をよろしくお願いいたします。

安井息軒旧宅清掃 ボランティア大募集!!

7月23日の旧宅清掃には18名の方々がご参加してくださいました。少しずつメンバーが増えており、ありがたい限りです。今後も9/17、10/29...と続きます。時間は朝8時半から10時半です。作業のできる服装で、みなさまのご参加をお待ちしております。

<引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- 来館時はマスクの着用をお願いします。
- 正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
- 入館時の検温にご協力ください。



みなさまへ

当顕彰会では新規会員を募集しています。
お問い合わせは右記事務局までお願いします。

年会費

■一般会員	2,000円
■賛助会員	1,000円
■学生会員	500円
■団体会員	5,000円(1口)
■ファミリー会員	1,000円

☆ みなさまからお預かりしました会費は、情報紙等お知らせの郵送の他、自主事業の財源として活用されます。納入へのご協力をよろしくお願いいたします。

事務局

NPO 法人 安井息軒顕彰会

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1

(宮崎市安井息軒記念館内)

電話：0985-84-0234 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

